

令和6年度日南町立認定こども園にちなん十色 園評価結果

1 園教育目標

「ふるさとに学び、夢に向かい、生き生きと輝く子どもの育成」

- 自分の考えを持ち、遊びきる子ども
- 自分を好きになり、友だちも大切にできる子ども
- 地域に触れ、地域に親しみ自分を表現する子ども

2 本年度の重点目標と手立て

- 自己決定…自己選択や自己決定できる環境を準備し、遊び込むことで自己理解につなげる。
子ども主体の保育 ねらいに応じた選択制の保育 STEAMS 教育(実体験から自分なりの考えを持つ)
- 異年齢遊び…楽しさを共有できる仲間と思いを伝え合ったり、折り合いをつけることで、学びの基礎に繋げる。
個性を育む活動 かかわりを大切にしたい保育 チーム保育(多様性)
- 地域に親しむ…地域の知恵や文化、考え方に触れ、日南町の豊かな自然で、五感を使って思いっきり遊ぶ。
農業体験・菜園活動 CS 活動 絵本の読み聞かせ・素話 異文化に触れる活動(英語)

3 今年度の振り返り

評価項目	理由
学び続ける力	・行事の場面等、自分で選んで自分の得意なことを表現することが、自己表現する経験へとつながった。もっと幅広い経験の場を作り、挑戦できる機会を増やしていく。 ・様々な体験の中で「なんで」「どうして」「ぼくはこう思う」という自分なりの考えを語る姿が増えている。
かかわりあう力	・異年齢で生活したり遊んだりする中で、自分の興味の合う仲間と遊びを繰り返すことで、友達を知り、友達を助けてあげる姿にもつながった。 ・職員同士もチーム保育の中で、自分の思いを語ったり、相手の考えを受け入れたりする力が身に付き、園児への見本となっている。
ふるさとを愛する心	・菜園活動、運動遊びなど繰り返し地域の方と触れ合うことで、成長を感じ取ってもらうことができ、認めてもらったり励ましてもらうことで自信につながった。 ・8月から毎月、CIRと交流を行うことで、楽しみながら外国語や異文化に触れることができた。

4 来年度に向けての改善策

非認知能力の育成

○学び続ける力…まずはなんでもやってみようとして自己決定する子の育成(自己決定)

- ・子ども主体、見守る保育の意義を熟議し、理解を深めながら関わっていく。
- ・ねらいに応じた選択制の保育、興味、関心のある環境設定。
- ・STEAMS 教育の中で「やってみたい」を育む。

○かかわり続ける力…やってみて楽しかったこと、発見を自分の言葉で伝える子の育成(異年齢遊び)

- ・異年齢児保育の中で、言葉でのやり取りすることで修得する力をつけていく。
- ・かかわりを大切にしたい保育、人権保育への取り組み。
- ・大人のチーム保育をより一層充実させ、子どものかかわりを支援できる力につなげる。

○ふるさとを愛する心…多様な人、物との出会いから自尊感情を育む(地域に親しむ)

- ・農業体験・CS 活動でできるだけ多く地域の方と交流し、日南町を知る。
- ・絵本の読み聞かせ・素話の効果を理解し取り組む。
- ・異文化に触れる活動(英語教育)から言葉、文化に興味を持つ。